

平成31年度第1回甲府市地域公共交通会議 議事要旨

事務局	<p>議事① 上九一色・中道地区コミュニティバスの運行計画について</p> <p style="text-align: center;">— 資料説明 —</p>
議長（会長）	<p>ただいま、事務局より運行計画についてご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。</p> <p style="text-align: center;">— 意見等なし —</p> <p>では、事務局（案）をご承認いただけるということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">— 委員一同了承 —</p> <p>それでは、ご承諾をいただきましたので、山梨運輸支局に申請する手続きを取らせていただきます。</p> <p>次の議題に移らせていただきます。</p>
議長（会長）	<p>議事② 千代田地区における新たな公共交通について</p>
事務局	<p style="text-align: center;">— 資料説明 —</p>
議長（会長）	<p>ただいま、事務局より千代田地区における新たな公共交通について、ご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。</p>
委員	<p>運行方法として「コミュニティバス」と「支援サービス」というものがありますが、市の財政負担としては、どちらが少ないのでしょうか。また、差額はどのくらいになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>「支援サービス」については、車両の購入費、運転手への保険料、予約を受け付ける方（オペレーター）の人件費等が発生することを想定しており、「コミュニティバス」については、約700万円はかかると考えております。なお、参考となりますが、現在代替バスとして運行している「上帯那線」の委託料は約400万円となっております。</p>

議長（会長）	<p>私の方からの質問となりますが、オペレーターの人件費を負担するとのことですが、オペレーターは新たに採用するということなのでしょう。そうであれば、恒常的に人件費が発生してしまうことが気になります。</p>
事務局	<p>「創作の森おびな」の指定管理者である「帯那地域活性化推進協議会」が予約を受け付ける役割を担うことを想定しており、既存の指定管理者の業務に追加することを想定していますので、新たに採用するものではございません。</p>
議長（会長）	<p>承知しました。また、「支援サービス」での運行方法の場合、ボランティア運転手の確保をしなければなりません。どのような仕組みで確保していくのでしょうか。</p>
事務局	<p>例えば、帯那地域では、地域おこし協力隊を募集しておりますが、協力隊の方が運転手を務めることで、地域住民の方を知る良いきっかけとなりますので、まずは協力隊にご協力いただくことが考えられます。</p> <p>なお、帯那地域で定期的に運行すべき朝方の便は、千代田小学校のスクールバスを活用する方法で確保することができていますが、夕方の便は活用できないことから、必ず運行しなければなりません。</p>
議長（会長）	<p>「コミュニティバス」又は「支援サービス」の運行開始時期はいつぐらいを想定されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>「千代田地区公共交通協議会」の想定としては、2019年10月からの運行を予定しておりましたが、上帯那・下帯那自治会における住民説明会（2019年4月に開催）の意見を集約している最中であり、場合によっては延長することになると思われま。</p>
議長（会長）	<p>委員の皆様が千代田地区での運行方法についてお気づきの点がございましたら、事務局へご意見等をお寄せいただければと思います。また、事務局には、本日提出された意見等を今後の運行計画の立案に反映していただければと思います。</p> <p>次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議事③ 大里地区における新たな公共交通について</p>

事務局	<p style="text-align: center;">— 資料説明 —</p>
議長（会長）	<p>ただいま、事務局より大里地区における新たな公共交通について、ご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。</p>
委員	<p>大里地区においては、リニア新駅の立地予定地となっているところ、甲府駅からリニア新駅までの間をシャトルバスなどを走らせるということを聞いておりますが、今回のコミュニティバスとの整合は図られているのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、甲府駅からリニア新駅までのバス路線網については、市としては検討段階となります。一方、山梨県では、平成28年度に策定した「バス交通ネットワーク再生計画」において、交差点改良し、バス交通を導入することとしております。なお、ルートとしては、358号線を運行することを想定しており、アイメッセ線ルートは通らない予定となっております。</p>
委員	<p>シャトルバスなどについては、アイメッセ施設の前の通りを運行すると聞いていたことから、大里地区で導入を検討しているコミュニティバスの運行路線が重なってしまうのではないかと思います、お聞きしました。</p>
事務局	<p>現状としては、そのような運行ルートを事務局として把握しておりません。</p>
議長（会長）	<p>リニア新駅に伴うバス路線については、未確定事項があり、そちらについては考慮していないということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりですが、「大里地区公共交通協議会」での議論においては、リニア新駅の立地に伴うバス路線の新設等によって、適宜見直しを図っていく必要があるとの意見が出ております。</p>
委員	<p>大里地区でのコミュニティバスを甲府駅まで接続することは、既存の路線バスと競合することになります。</p> <p>路線バスの状況としては、収入が十二分に確保できている路線であっても、運転手不足により廃線しているという状況が最近報道されておりますが、どこもバス事業者は同じ悩みを抱えております。</p>

事務局	<p>そのような中、市の交通政策課では、公共交通の利用を促すための多様な施策を展開しており、バス事業者としては感謝しており、現状の路線は何とか維持していきたいと考えて努力をしております。</p> <p>しかし、競合路線が発生してしまうと、利用者が分散してしまうことになり、既存路線の廃止や減便を検討せざるを得ないこととなります。</p> <p>事務局としても、当初は国母駅への接続を基本としてお話をさせていただいておりましたが、「大里地区公共交通協議会」における議論の中で、朝・夕だけは甲府駅に接続できないかという意見があったことから、甲府駅へ接続する便を案として入れております。</p> <p>今後、甲府駅への接続は、確定事項ではないことから、本日のご意見を踏まえ、「大里地区公共交通協議会」で再度議論していきたいと思っております。</p>
事務局	<p>乗り合い事業については、採算性や運転手不足の中、運行が厳しいものとなっていると認識しておりますが、バス事業者のご努力によって、市民の足を確保していただいていることを心から感謝しております。</p> <p>我々行政におきましても、地域公共交通の担い手の一員として果たすべき役割が年々増えているものと考えておりますが、今後は、市民の皆様、行政、さらには交通事業者等の皆様が、共存・共栄の仕組みを創り上げていくことが必要なのではないかと考えており、委員の皆様におかれましてもご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>運行日についてですが、大里地区と千代田地区ともに365日運行となっており、利用する側としては便利と判断されますが、運行してみると、平日よりも休日の利用率は下がるのではないかと不安な面があります。運行日数などについては、もう少し議論していただければと思います。</p> <p>また、千代田地区の「支援サービス」についてですが、許可や登録を受けているバス事業者の場合には、責任の所在が明らかとなりますが、ボランティアでの運行の場合には、誰が責任を取るのでしょうか。責任の所在を明確にすることで安心して利用することができます。加えて、ボランティア運転手への健康診断や教育なども行うことが必要なのではないかと思っております。</p>

事務局	<p>運行日数や、責任の所在、健康診断等については、今後「千代田地区公共交通協議会」で議論を深めてまいります。</p>
議長（会長）	<p>昨年度策定した「甲府市地域公共交通網形成計画」の目的は、既存路線の維持が最初のスタート地点でありましたが、それに悪影響がある計画は、基本的に駄目だと思います。旧来廃止された路線では、甲府駅までの行くには400円から500円くらいかかっていたと思われませんが、今回の計画では、甲府駅まで200円で行くことができることとなります。そういう意味で、「大里地区公共交通協議会」でさらに議論を深めていただきたいと思います。</p> <p>質問となりますが、地域が運行主体となり、行政は運行計画の立案や利用促進策の展開を想定されているようですが、甲府市は財政支援しないということでしょうか。地域が運行主体という意味は、費用などをすべて地域が負担するというのでしょうか。それとも、甲府市が財政負担するというのでしょうか。また、甲府市が財政負担することになれば、網形成計画との関係についてどのように整理されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域住民の方からそれなりに負担していただくこととなりますが、運行経費をまかなえない部分については、市として運行経費の一部を助成することを考えております。</p> <p>また、網形成計画の中では、地域で支えるコミュニティバス等の導入の推進を行っていくこととしており、整合は図られていると考えておりますが、網形成計画には、既存路線の維持・確保を目指すことも位置付けており、甲府駅まで接続することは網形成計画と矛盾するのではないかと我々も感じております。</p> <p>今後は、地区住民からの自治会支援金を徴収することの重みなども踏まえつつ、接続する駅については、慎重に議論していきたいと考えております。</p>
議長（会長）	<p>市が財政支援する中で、既存の路線バスの利用者が減ってしまうと、網形成計画と矛盾すると思います。また、コミュニティバスを甲府駅まで接続した場合、公共交通空白地域の解消という話を超えてしまうのではないのでしょうか。</p> <p>また、確認事項となりますが、地域が主体となって運行することは非常に良い話であるが、全般としては、一見すると、元々路線があったのが使われなくなったことで、公共交通空白地域となりましたが、地域が主体的に動くことで、市からの財政負担が確保され、従来より</p>

事務局	<p>も安い料金でバスが使えるように見えます。その点はどのように考えているのでしょうか。</p> <p>大里地区においては、住民の意向を確認しつつ、路線バスを廃線しましたが、仮に廃線しなかった場合には代替バスとして、市が経費を負担して運行していたと想定されます。そのため、今回のように新たに補填することについては、問題ないと考えております。</p>
議長（会長）	<p>「既存路線の維持」と「地域が主体となって安く便利に運行」が共存するのかが気になります。慎重にご議論いただいて、既存の路線バスに影響が生じないようにしていただきたいと思います。</p> <p>また、大里地区でのスケジュール感としては、どのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>「大里地区公共交通協議会」の想定としては、2020年での運行を予定しておりましたが、今後の住民説明会次第では、難しいのではないかと考えられます。また、運行時期の延長については、「大里地区公共交通協議会」の委員の皆様にもご理解いただいております。</p>
議長（会長）	<p>委員の皆様については、千代田地区・大里地区での運行方法についてお気づきの点がございましたら、引き続き事務局へご意見等をお寄せください。また、事務局には、本日提出された意見等を今後の運行計画の立案に反映していただければと思います。</p> <p>では、議事④に移りますが、皆様・事務局から「その他」議事がないようでしたら、以上をもちまして、本日予定しておりました議事を終了いたします。</p> <p>議長の職をとき、事務局へお返しさせていただきます。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆さまにおかれましても、貴重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、「甲府市地域公共交通会議平成31年度第1回会議」を閉会させていただきたいと思います。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>